

第 50 回番組審議委員会議事録

1. 開催年月日 令和 3 年 1 月 29 日（金）午後 10：30～11：30

2. 開催場所 和歌山県田辺市宝来町 8-21 泉ビル 2 階

3. 委員の出席 委員総数 6 名 出席委員 6 名

出席委員の氏名 野村悠一郎、三角雅彦、小倉拓、安達克典、橘智史、坂本耕作

欠席委員の氏名 なし

放送事業者側出席者氏名 泉清、大崎健志、濱田由希子、

リモート参加：安田豊、角田圭三、生田奈穂

欠席者氏名 洞周作

議題 1) 局側挨拶（現状報告）

2) 議題

番組聴取

12 月 17 日(木)「お昼ですよ！」内で放送した、北海道帯広市のコミュニティ FM 局 JAGA とのクロストーク (JAGA の「旅するラジオ！」コーナーにゲスト出演) のダイジェストを聴取、ご意見・ご感想

3) その他番組への質問・意見

4) 今後の放送に対する意見・要望

5) その他

局側挨拶・報告

1. 局側挨拶

泉：本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。新しい委員の坂本さんも含め、全員ご出席いただけるという有難い日となりました。皆様のご意見をさらに反映されるような放送に出来たらいいなと思っております。

コロナの影響で思った以上に大変な世の中になりいろんな知恵を使って乗り切っていかなければならないところですが、お陰様で皆さまに支えていただき何とか続ける事が出来ています。

年末年始も変わらず年中無休で放送も行いました。去年は放送免許の更新があり、この先 5 年間国の免許の継続をいただきました。社内でも五カ年計画と題しまして会議を重ね様々な企画や方向性を考えているところです。その辺りも追々いろんな場面で見ただけるかと思しますのでよろしく申し上げます。

2. 議題

～番組聴取～

泉：他局とのクロストークというのはいろんな所で行われている定番のものだったりするのですが、先方からお声をかけていただき北海道のラジオ局の番組コーナーに生放送でご出演させていただくという形を今回聞いていただきました。

三角：短い時間でしたが、「旅するラジオ」コーナータイトルにあるようにラジオを聞きながら想像しますよね。部屋の中が暖房しっかりされてて半袖で過ごしているというような話も聞いた事ありましたが、本当やったんやなと地域差を感じる事が出来ました。ただ、皆さん標準語で話されていたのでローカル感が感じられなかったです。途中で「しばれる」という方言の話になりましたが、この会話の時は地元の言葉で話してもらった方がもっと良かったかなと思いました。

泉：普段から標準語に近い話をしてしまっているのですが、こういったローカル感を出した方が良い時には方言を使えるよう切り替えが必要ですね。

安達：今回は北海道でしたが、他にも違う所とクロストークはされているのですか？

泉：定期的に昔からさせてもらっているのはエフエム和歌山さんで

す。毎週水曜日のお昼 11 時過ぎに繋げて、お互いの地域の行事やイベントなどを紹介しています。あと、ちょうど今日から始まるのですが FM はしもとさんと月一のクロストークコーナーが始まります。世界遺産の繋がりもあって、橋本も田辺の知らない所があるし田辺も橋本の知らない所があるでしょうからお互いを知っていこうという趣旨になっています。

安達：田辺市と友好の深い地域例えば、植芝盛平関係の繋がりがあるなどの場所と提携すれば共通の話題が話せるんじゃないでしょうか。

泉：田辺に縁のある地域にコミュニティ FM 局があれば検討して取り組んでいきたいと思います。

三角：今回は FMJAGA さんから打診があったんですよね。コミュニティ放送局同士のネットワークがあるのですか？

泉：それぞれ地域の通信局がありまして、近畿や東北などその通信局単位でグループがあります。全国でもコミュニティ放送協会があり、さらに近畿地区でも協議会が設立されています。今は ZOOM を使っていますが定期的に会議を行っています。しかし、その繋がりでもクロストークをしているかといふとなかなか出来ていないです。

三角：その繋がりを活かしていろんな地域とクロストークが出来るようになれば、リスナーの意見を取り入れながら「次はどこ地域と…」となれば面白いのではないのでしょうか。

泉：リスナーも積極的に聞いてくれるきっかけにもなりそうですね。

小倉：田辺と縁のないところでも、数珠繋がり方式で紹介してもらいながら出来たらいいのかなと思います。観光とか商工を絡めて、今だったら梅の花が咲いていますというような話が出来れば大阪や京都から観光に来てくれる人も増えるんじゃないかな。関東圏なら飛行機も使えますし。今はコロナで難しいところもありますが。

泉：新たなローカル局とのネットワークを使って田辺の事を発信したり逆に他の地域を知るきっかけになれば嬉しいと思います。

安田：他のコミュニティ放送局との繋がりで言いますと、防災面で東日本大震災や熊本地震を経験をしているコミュニティ放送局へ局員が現地に訪問して直接お話を伺うような計画を立てています。観光とはまた違うのですが防災面での横の繋がりをこれからも拡大していきたいと思っています。

三角：宣伝になってしまうかもしれませんが、道の駅と繋いでランチ情報とか話してもらってもいいかもしれませんね。

泉：龍神、中辺路、大塔、本宮地域の道の駅などに FM TANABE の防災ラジオを設置して昼間だけでも放送を流してもらうよう勧める活動も行っています。いつくかは流してくれている所があります。

三角：たとえば道の駅とのトークの中で出てきたローカルな食べ物とかがHPやネットで見る事が出来たらラジオ放送とリンクして聴けてさらにいいように感じます。

泉：情報発信をもっと気軽にやっていけたらいいなと思います。

3.その他番組への質問・意見

野村：昨年12月からスタートしました町内会長のリレートークコーナーに初回出演させてもらいましたが、いろんな方から電話をいただきましてこんなにもラジオを聞いている人がいるのかと驚きました。昔、市議会議員さんが出演されるコーナーありましたよね。よく聞いていたのでまた復活してくれると嬉しいです。

泉：ありがとうございます。いろんな人に聴いてもらえるような番組作りに励んでいきます。

安田：野村会長の町内会長リレートークも面白かったです。各町内会長さんに出ていただいてその地域のお話を聴く事ができるのはすごく良いと思いました。旧田辺市以外にも広がっていけばいいなと

思っておりますので、今後ともよろしくお願いします。

野村：旧田辺市地区は電波が届かない問題もあって遠慮されていますね。

泉：ケーブルテレビで聴くことは出来るのですがなかなか周知出来ていないのが現状です。皆さんに知っていただく活動をしてコーナーも充実させていきたいと思えます。

4.今後の放送に対する意見・要望

坂本：今の若い人たちは得た情報をすぐネット検索する事が多いと思うので、ラジオを聴きながらネット検索出来るような方法があればいいなと考えました。今コロナ禍で観光の情報にナイーブなところがあると感じていて、各地で緊急事態宣言も出ている中で快く思わない人もいるかもしれません。そしたらどんな検索出来る情報が良いか考えた時に、今知り合いの梅屋さんでネット販売が好調だそうです。県外の放送局とクロストークをした時に、和歌山の産品に興味を持ってもらった時にネットで検索して購入出来て、「ラジオを聴いて買いましたよ」という声が聞こえてきたら地元の企業もメリットだし、販売数伸びるのならラジオを活用してみようかなと思ってもらえるんじゃないでしょうか。コロナ禍だからこそ出来る事も

あるように思います。

泉：ラジオとネット検索をどう繋げていくか、是非検討したいと思っています。

安田：今のお話はすごく重要だと思います。ネットも含めて地元の企業の売上げが上がるような事が FM TANABE として貢献出来るように考えていきたいと思っています。

5.審議機関の答申または改善意見に対して採った措置及びその年

特になし

6.審議機関の答申または意見の概要の公表方法

内容：審議内容について公表

方法：ホームページ掲載 (<http://www.fm885.jp/>)

7.その他参考事項

特になし